

事務事業名	御代志市民センター空調設備改修事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連		
政策名	総合計画 04	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
施策名	21	生涯学習の推進		所属係	生涯学習班	課長名	野本 立一
基本事業名	80	生涯学習・スポーツ施設(環境)の整備		担当名	合志 新一	電話番号 (内線)	096-242-1190 2421
予算科目	会計 01	款 10	項 05	目 03	事業	公民館費	
事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ☒ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 ↳ (開始年度 年度 ~) ↳ (平成17 年度 ~ 平成18 年度)						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
(事業の内容) 老朽化で機能していなかったセンター講堂(屋内運動場兼用)・ホールの空調設備改修事業(2期目) (業務の内容) 入札により業者を決定し、盛夏期までの工期で、工事対象となる空調設備全般を、空冷ユニット方式に改修し、施設の快適な環境と空調に係る燃料費の節減を実現した。 (予算の内訳) 工事請負費(18年度分は52,000,000円計上)				総 業 務 費 入 量	財 源 内 訳	国庫支出金	85,387
						都道府県支出金	
						地方債	
						その他 一般財源	
						事業費計 (A)	113,849
人 件 費	正規職員従事人数						
	延べ業務時間						
	人件費計 (B)	0					
トータルコスト(A)+(B)		113,849					

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

5月入札(株新屋電気落札:25,830千円)、7月上旬完成後稼働開始

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

事業終了

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

市民(御代志市民センター利用者)

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

御代志市民センター施設を快適に利用してもらう。

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

活動する場がある

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 事業費	円
イ	
ウ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	単位
ア 市民(御代志市民センター利用者)	人
イ	
ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	単位
ア 御代志市民センター利用者	人
イ	
ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	単位
ア 学習・スポーツに親しむ施設が整っていると市民の割合	%
イ	
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移

				単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22 年度 (最終目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円		40,200	19,300				
			その他	千円							
			一般財源	千円		9,449	6,530				
			事業費計 (A)	千円	0	49,649	25,830	0	0	0	0
	人件費		正規職員従事人数	人		1	1				
			延べ業務時間	時間		80	80				
			人件費計 (B)	千円	0	200	318	0	0	0	0
			トータルコスト(A)+(B)	千円	0	49,849	26,148	0	0	0	0
活動指標			アイウ								
対象指標			アイウ								
成果指標			アイウ								
上位成果指標			アイウ								

合志市

事務事業名	御代志市民センター空調設備改修事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-------------------	-----	----------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 建築後18年を経過した御代志市民センターの空調設備は、適正な維持管理を行ってきたが、近年老朽化が甚だしく故障が多発し、燃料(灯油)消費も増加の一途であった。このため利用者にはたいへん迷惑をかけ、施設の管理が困難になりつつあった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
 温室効果ガスの大量排出により、地球環境の温暖化が現実を帯びてきており、化石燃料の燃焼による空調設備は、環境影響面から旧式となってきた。また、全館の一斉冷暖房方式も使用電力の面から非効率であると認識するようになった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 空調設備の老朽化によるたびたびの故障により、特に酷暑、厳冬期には市民(施設利用者)から苦情が多数寄せられ、状況を早急に改善するよう議会でも質問を受けていた。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ 設備を改修することで、施設利用者の利便性は向上し、さらに利用者の増加が見込まれるため生涯学習の推進に寄与できる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ 多額の費用を投じて建設した施設も、経年劣化による施設改修は避けられない。このため、老朽化した施設の改修は優先順位をつけ、行政が計画的に行う必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ 施設の改修は、施設利用者の利便向上を目指すものであるため、対象意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果をみたしたため事業終了
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☒ 影響無 ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事業完了のため
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒【理由】⇒ (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 事業完了のため ☒ 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 事業完了のため
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 事業完了のため
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業完了のため

合志市

事務事業名	御代志市民センター空調設備改修事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-------------------	-----	----------	-----	-------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

空調設備の改修ができ、施設利用者に、年中快適な室温で施設を利用してもらうことができた。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☒ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

事業完了

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

事業完了

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☐ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
- ☐ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項